

## Lesson35

**仮定形** → 為了使某件事情成立、將其必要的条件放在句子前半部分。(仮設～)

### V動詞的仮定条件變化規則

#### I グループ V辞書形「う」段音→「え」段音+ ば

あ 会う → 会 え ば

い 行く → 行 け ば

お 押す → 押 せ ば

ま 待つ → 待 て ば

よ 読む → 読 め ば

#### II グループ 去「る」 + れば

いる → いれば

み 見る → み 見れば

た 食べる → た 食べれば

ね 寝る → ね 寝れば

#### III グループ

する → すれば

く 来る → く 来れば

### 形容詞、名詞的仮定条件變化規則

#### い-adj 去「い」+ ければ

やす 安い → やす 安ければ

※ いい → よければ (→よい去「い」+ければ)

#### な-adj + なら

#### 名詞 (N) + なら

ゆうめい 有名なら、 きれいなら、 にぎやかなら

がくせい 学生なら、 ゆき 雪なら、 りょこう 旅行なら

## 仮定形用法

- ① 表示对一動作的仮設、即某事得以成立所必要的条件。說話者の心理偏重在於「某種動作發生的話、会造成某種結果」。

例)

→ 一生懸命練習すれば、きっと上手になりますよ。

→ よく勉強しておけば、こんな成績にはならなかったでしょう。

→ 7時に家を出れば、間に合うでしょう。

→ 手をあげれば、自動車が止まります。

→ 規則を覚えれば、すぐできます。

- ※ 否定動作表仮説 → 「V-なければ、～」

例)

り借用 いadj変化

→ 雨が降らなければ歩いて行きます。

→ 分からなければ、教えてあげます。

- ② 表対習慣、常理、定理的叙述

例)

→ 春になれば花が咲きます。

→ あの店に行けばいつでも買えます。

→ 5に3を足せば8になります。 \* 引きます(減)

→ 10を5で割れば2になります。 \* かけます(乗)

- ③ 表兩組条件的並列。「A も・・・ B も・・・」

例)

→ あの人は英語も話せば日本語も話せます。

(那個人既會說英文也會說日文。)

きのう あめ ふ 降れば かぜ ふ  
→昨日は 雨も 降れば 風も 吹きました。  
自、他動同體

あした いちねんせい く にねんせい き  
→明日は 一年生も 来れば、二年生も 来ます。

④ 表随着某動作之進行而產生某種狀態

V 假定形 V-辞書形 ほど、 ～

い-adj 假定形 い-adj ほど、 ～

な-adj 假定形 な-adj な ほど、 ～

例)

→日本語を 習え、習うほど 難しく なります。

→スポーツは 練習すれば するほど 上手に なります。

→小説は 読めば 読むほど 面白いです。

※ L23 「 V-辞書形 + と、～ 」

說話者の心裏偏重於必然性的結果的敘述、也就是說話者心裏想着若做某種動作、或某種動作發生的話、「必然會或通常會造成某種結果」。

與「 ～ たら、～ 」一樣、在於告知結果的後句。

例)

→酒を 飲むと どう なりますか。

酒を 飲むと 顔が 赤く なります。

偏重於必然性的結果的敘述、所以後句不會出現非必然性的、屬於個人看法或意見的

「 V- う (よう)」、「 V- ましょう」(意志、勸誘)、「 V- (ます) + なさい」(命令)、「 V-て ください」(請求)、「 V-てもいいです」(允許)、

「 V-ては いけません」(禁止)、「 V-普通形 ほうがいいです」(勸告)

若為上述語氣、應改用「 V-た形 + ら 」

例)

→雨<sup>あめ</sup>が降<sup>ふ</sup>ると、タクシーで 行<sup>い</sup>って ください。(×)

雨<sup>あめ</sup>が 降<sup>ふ</sup>ったら、タクシーで 行<sup>い</sup>って ください。(○)



※ V-辞書形 + なら

表以已知的或想定的未来、現在之肯定動作為内容的条件設定。

例)

→日本語<sup>にほんご</sup>を 勉<sup>べん</sup>強<sup>きょう</sup>するなら、日本語センターへ 行<sup>い</sup>ったほうが いいです。

→(あなたが) テレビを 見<sup>み</sup>るなら、家<sup>うち</sup>で 見<sup>み</sup>たほうが いいです。

→明日<sup>あした</sup> 学校<sup>がっこう</sup>に 来<sup>く</sup>るなら、私<sup>わたし</sup>の傘<sup>かさ</sup>を 持<sup>も</sup>って きて ください。

→旅行<sup>りょこう</sup>へ 行<sup>い</sup>くなら、温泉<sup>おんせん</sup>へ 行<sup>い</sup>きたいです。

旅行<sup>りょこう</sup>なら、温泉<sup>おんせん</sup>へ 行<sup>い</sup>きたいです。

※ 「～ たら、～ 」、「～ なら、～ 」の差異

例)

→パリへ 行<sup>い</sup>ったら、おしゃれな靴<sup>くつ</sup>を 買<sup>か</sup>おう。⇒ 到了才買

パリへ 行<sup>い</sup>くなら、おしゃれな靴<sup>くつ</sup>を 買<sup>か</sup>おう。⇒ 去久前<sup>か</sup>先<sup>まえ</sup>買

「～ たら、～ 」→表： 到了 ～ 、 才 ～ 。（≡ V-てから、～）

「～ なら、～ 」→表： ～ 之前 、 就先～ 。

→飲<sup>の</sup>んだら、乗<sup>の</sup>るな。乗<sup>の</sup>るなら、飲<sup>の</sup>むな。

(意味)

飲<sup>の</sup>んだら → 飲<sup>の</sup>んだあと

乗<sup>の</sup>るなら → 乗<sup>の</sup>る<sup>まえ</sup>前に